

学校だより



平成30年8月27日

8・9月号

横浜市立美しが丘東小学校
学校長 井上 由美子

ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/es/utsukusigaokahigashi/>

地域の「ひと・もの・こと」とも関わり 主体的に考え行動する子

校長 井上 由美子

「猛暑日」といわれる日が続いたり、台風の影響による大雨が降ったりと自然のすごさを感じたり考えたりすることが多かった夏休みは終わり、2学期が始まりました。静かだった学校に活気が戻ってきました。久しぶりに会った子どもたちとの「おはよう」の挨拶から「元気、やる気」を感じることができ、うれしい気持ちになりました。

さて、夏休み中の7月29日「美しが丘盆踊り大会」で、5、6年生の有志の子どもたちが「美東ソーラン2018」を大勢の観客の前で堂々と踊りました。そろった動きと張りのある声は、力強い表現につながりました。見ていた人から「かっこいい」「美しが丘東小学校5、6年生はソーランを踊る伝統があるから僕も踊りたい」と言う、うれしい声を聞くことができました。私はいっぱい拍手をしました。集合場所に戻ってきた子どもたちの額からは汗がしたり落ち疲れた様子でしたが、やり遂げた達成感と満足さも伝わってきました。また、8月25日には第5公園で、美しが丘東自治会主催の「夏祭り」も行われました。どちらの祭りにも子どもたちが多く参加し、楽しんでいる姿を見ることができました。地域の中で子どもたちが「ひと・もの・こと」と関わって育てられていることを強く感じました。今後も子どもたちが健やかに成長していけるよう、学校、家庭、地域がより協力していければと思っています。

夏休み中に美しが丘中学校ブロック3校の小・中学校教員と一緒に研修をしました。そこでは、この地域で、9年間を通して育ててほしい子どもの姿について話をしました。小中一貫ブロックのテーマは『「ひと・もの・こと」との関わりを大切にしながら、夢に向かって挑戦しようとする子ども』です。子どもたちの強みは、言われたことはよくでき、まとめたり調べたりすることもできる。さらに表現力もある。しかし、自分からもっとこうしてみたいとか困難が予測されることへの挑戦は消極的な子どもが多いのではないかと。そこで、疑問や問題をどうやったら解決できるかを主体的に考え、粘り強く取り組んでいけるような学習を学年の発達に合わせて経験させていきたいという話になりました。

夏休み中に経験したこと、調べたこと、できるようになったことなど、これまでに培ったいろいろな力を基にして、主体的に考え行動を起こし、楽しく学校生活をしていけるよう、教職員みんな子どもたちを支援していきます。

今後とも、学校教育に対するご理解、ご協力をよろしく願いいたします。